

沿道建築物判定報告書留意事項（RC造用）

特記なきは一般建物判定報告書要領による。

判定報告書

令和 年 月 日
佐賀県建築物耐震性能判定特別委員会
委員長 崎野 健治

【物件名】 ○○○○○

本件は、鉄筋コンクリート造○階建ての事務所であり、所有者○○氏の委託に基づき判定申請された佐賀県における緊急輸送道路沿道建築物である。

本委員会は、下記について提出された資料に基づき技術的検討を行った結果、本件は申請事項に対し、現況の耐震診断について適当であると判定する。

記

§ 1 . 建築概要及び構造概要

建物概要及び構造概要を簡潔に記載すること。

§ 2 . 耐震診断結果

1. 建物名称 : ○○○○○
2. 所在地 : ○○○○○
3. 用途 : ○○○○○
4. 階数 : ○○○○○
5. 構造形式 : ○○○○○
6. 基礎構造 : ○○○○○
7. コンクリート : ○○○○○

	コア圧縮強度 (推定強度)	診断採用値
3階	○○○ N/mm ²	○○○N/mm ²
2階	○○○N/mm ²	○○○N/mm ²
1階	○○○N/mm ²	○○○N/mm ²

8. 柱主筋 : ○○○○○
9. 柱帯筋 : ○○○○○
10. 梁主筋 : ○○○○○
11. 梁肋筋 : ○○○○○
12. 壁筋 : ○○○○○

13. 準拠基準

(財)日本建築防災協会

「○○○○年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準同解説」
評価プログラムを使用すること。

14. 現況 2 次診断結果 正加力、負加力を検討した場合は一般建物判定報告書要領による。
 使用プログラム名 ○○○○○○ 評価プログラム名を記載すること。
 [耐震判定指標値 : I_s $I_{so} =$ かつ $C_{TU} \cdot S_D$]

方向	階	極脆性柱	F u	E o	S _D	T	I s	C _{TU} ・S _D	判定
X	3	無							
	2	無							
	1	無							
Y	3	無							
	2	無							
	1	無							

$$I_{so} = E_s \times Z \times G \times U, \quad C_{TU} \cdot S_D = 0.3 \times Z \times R_t$$

C_{TU}・S_D値は上式によりZを考慮する。

§ 3 診断者所見

耐震判定指標値 I_{so} は所有者の意向による値であり、地域係数 $Z =$ を想定したものである。

現地調査結果、現況診断結果及び所見を簡潔に記載すること。

診断者 : ○○○○○○ 担当者 ○○ ○○

構造担当 : ○○○○○○ 担当者 ○○ ○○

診断年月 : 令和 年 月